

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数は4,722件(前月比0.8、前年比0.4)でした。1月の報告数は昨年並みでしたが、その後次第に減少しています。2月は昨年の4割の報告数でした。山鹿(86.7)、宇城(86.0)からの報告が多いようです。今年のインフルエンザの流行は例年になく小規模だったようです。  
※( )書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

## 小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 報告数は9,340件(前月比0.9、前年比0.6)と前月より減少し、前年に比し半減でした。インフルエンザの減少が主な原因と思われます。手足口病(前月比0.3)咽頭結膜熱(前月比0.6)、流行性耳下腺炎(前月比0.4)も減少しています。報告数は少ないですが、増加したのは伝染性紅斑(前月比1.8)でした。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 133件(前月比0.8、前年比1.0)でした。昨年9月から減少傾向が続いています。水俣(8.5)、菊池(5.6)からの報告が多いです。
2. 咽頭結膜熱: 97件(前月比0.6、前年比1.3)でした。1月報に記載されているように、昨年8月からの報告数は多い状態が持続し、増減幅が大きかったのですが、2月は減少しています。今後の動向が予測しにくい経過です。菊池(7.4)からの報告が継続して多く、1歳代にピークがみられます。
3. A群溶レン菌咽頭炎: 390件(前月比1.1、前年比1.4)でした。昨年11月から増加し始め1月から例年以上の報告数になり、2月はさらに増加しています。菊池(25.4)からの報告が多いです。
4. 感染性胃腸炎: 3,186件(前月比1.0、前年比1.3)でした。昨年11月をピークに漸減していましたが、2月は前月同数の報告でした。山鹿(173.0)、菊池(113.8)からの報告が多いです。
5. 水痘: 414件(前月比0.8、前年比1.4)でした。昨年11月から増加を続けていましたが、2月はやや減少しています。今後の経過が気になるところです。八代(17.5)からの報告が多いです。
6. 手足口病: 67件(前月比0.3、前年比9.6)でした。昨年夏期の流行が見られず、昨年11月から報告数は少ないながら増化傾向でしたが、2月に入り減少してきました。しかし例年冬期の報告は少ない中で、異例の状況です。有明(5.2)からの報告が多いです。1歳代に多いようです。
7. 伝染性紅斑: 11件(前月比1.8、前年比0.4)でした。昨年8月よりずっと少数の報告が続いていますが、前月比(1.8)と増加してきています。
8. 突発性発しん: 125件(前月比0.7、前年比1.0)でした。
9. 百日咳: 1件(前月比—、前年比1.0)でした。菊池からの報告で、0~5ヶ月児でした。
10. ヘルパンギーナ: 8件(前月比1.1、前年比1.0)でした。例年同様に7月をピークに減少を続けています。

11. 流行性耳下腺炎: 27件(前月比0.4、前年比0.1)でした。昨年5月以来減少を続け例年と比べると少数です。天草からの報告がやや多い(1.8)です。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎: 報告数 55件(前月比 0.7、前年同月比 1.0)と減少しています。地域別では熊本 51件、菊池 2件、有明 2件の報告です。年齢別では 20~49歳で56%を占めていますが、50歳以上の発症も目立ちます。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 35件(前月比 0.6、前年比 0.8)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性12件、女性23件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15~44歳に多く見られ、女性は15~39歳に多く見られます。地域別は、熊本が25件、次いで宇城5件、八代、有明、各2件、御船1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:  
報告数 21件(前月比 0.9、前年比 1.1)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性11件、女性10件でした。年齢別は、男性は20~59歳、女性は20~70歳以上と幅広く見られます。地域別は、熊本が16件、次いで有明2件、菊池、八代、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 7件(前月比 0.5、前年比2.3)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性4件、女性3件です。年齢別は、男性は15~34歳、女性は15~39歳に見られます。地域別は、熊本が4件、八代、有明、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数17件(前月比 0.7、前年比 1.4)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性が15件、女性2件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15~70歳以上と幅広く見られ、女性は15~29歳でした。地域別は、熊本が14件、次いで八代2件、有明1件でした。

## 基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 1件(前月比一、前年比一)の報告がありました。人吉1件で、年齢は70歳以上:1件でした。
2. 無菌性髄膜炎: 1件(前月比一、前年比0.5)の報告がありました。熊本1件で、年齢は5~9歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 6件(前月比0.5、前年比0.5)の報告がありました。熊本3件、山鹿1件、天草2件でした。年齢は1~4歳:1件、5~9歳:2件、10~14歳:1件、70歳以上:2件でした。
4. クラミジア肺炎: 報告ありませんでした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:  
13件(前月比0.8、前年比0.2)の報告がありました。熊本地区から9件(69.2%)、菊

池1件、八代1件、人吉1件、有明1件でした。年齢は高齢者(70歳以上)が多く7件(53.8%)、また0歳:1件、1~4歳:2件、50~54歳:1件、60~64歳:1件、65~69歳:1件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

2件(前月比0.3、前年比0.3)の報告がありました。熊本1件、有明1件で、年齢は1~4歳:1件、70歳以上:1件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告ありませんでした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:

報告ありませんでした。

## 届け出対象感染症

1類感染症: 報告はありませんでした。

2類感染症: 結核:26件

3類感染症: 報告はありませんでした。

4類感染症: 報告はありませんでした。

5類感染症(全数把握): 梅毒:1件  
風しん:2件